

第2次流山市子どもの読書活動推進計画(素案)に対する意見と市の考え方

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	第2次流山市子どもの読書活動推進計画(素案) 修正案
1-1	P32	事業番号62	予算のこともあるだろうが、西初石中学校の蔵書冊数を増やしていきたいが、図書室だけでは蔵書しておくスペースがないように感じる。流山市内の中学校のコンピュータ室が、パソコンを置くことがほとんどなくなったため、『メディアセンター』のような、蔵書が出来るスペースとして活用することはできないか提案したい。(図書室にコンピュータの端末がなく、校務用のパソコンを配置してみたことはある(私自身が司書教諭として任務を遂行していたとき)が、蔵書を増やそうと考えるとかえって邪魔な空間が生まれている。)また、図書館とコンピュータ室がプログラミング教育の出来るような環境を小中学校ですすめていけたら良いなど感じている。プログラミングの書籍を置いたり作業したりするスペースを確保したりすれば項目62は達成できると思われるし、小中学校の司書教諭なども発信しやすいと思われる。	蔵書に関しては、蔵書の質を高めるために、計画的な購入と本の刷新を図ります。 学校図書館とコンピュータ室によるメディアセンター化については、学校の実態に応じて、学校長が決定します。 今後も、子どもたちと教員がよりよく活用できる学校図書館の整備と更新に努めます。	無	
1-2	P33	事業番号70	項目70について司書教諭が役割を果たせるような時間の確保と書かれているが、時間を確保するのならば、司書教諭の授業コマ数を少なくしてあげるべきである。現状かなり難しいと思うので、現場の担当者としてしっかり話を聞く場を設けてほしいです。	司書教諭が業務に専念できるような校務分掌上の工夫に取り組むよう、各学校と情報共有します。	無	
2-1	P31	事業番号51	学習する時期が重なることが多いので、必ず図書を活用する単元から優先して今以上に市立図書館蔵書を増やして欲しいです。	市立図書館蔵書については、令和4年12月に予定している南流山地域図書館の開館に向けて、積極的に児童書を購入しているところです。今後も単元に合わせた蔵書の購入を積極的に行っていきます。	無	
2-2	P36	事業番号90	あわせて団体貸出時の市立図書館と学校間の本の運搬方法として図書流通システム(巡回配送)の導入を検討願います。	市立図書館の団体貸出は、現在、各学校の希望日時に合わせて随時、各図書館に資料を用意し、学校の職員に受け取りに来ていただいています。ご意見にある図書流通システムについては、今後、他市の取組を研究し、費用対効果を考慮しながら検討いたします。	無	
2-3	P33	事業番号65	学校図書館担当者の研修だけでなく、教職員全体への学校図書館活用の意識向上の働きかけが必要です。図書をどうやって授業で活用するのか、図書室割当時間をどう過ごせばいいのか等のノウハウを学ぶことができるよう、初任者研修、1・2年経験者研修時などに図書館活用を学ぶ時間をとることを提案します。	学校図書館司書や司書教諭向けの研修、図書館活用における教職員向けの研修の実施について、検討いたします。	無	
2-4	P38	事業番号106	学校図書館司書の1校ひとり体制を希望します。流山市の学校図書館活用も進んできました。現在1校週2日でひとり2校担当していますが、特に小学校では2校担当することが限界に近づいています。2校担当ということは同じ仕事を2校分こなすということです。学校図書館司書の仕事は多岐にわたり、特に購入図書選書、年度始めの図書オリエンテーションを2校分担当するのは相当な負担です。まずは1校週2日配置のままでもかまいません、1校ひとり体制とし、1校の仕事に集中できるようにしていただきたいです。1校ひとり体制の英語活動指導員、算数指導員、サポート指導員と同じように学校図書館司書を扱っていただきたいです。そして順次大規模校から週あたりの配置日数を増やしていくことを検討願います。	引き続き、学校図書館司書の増員や勤務時間の充実に努めます。	無	
3-1	P33	事業番号64	団体貸出で市立図書館との連携をしていますが、本の貸出手続きや返却は、勤務時間が短く、時間外で手続きをしなければならない為、本の配送方法をボランティアさん等で活用できないか？	2-2に同じ。	無	

第2次流山市子どもの読書活動推進計画(素案)に対する意見と市の考え方

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	第2次流山市子どもの読書活動推進計画(素案) 修正案
3-2	P33	事業番号66	中学校は、朝読書が無くなってしまっている。忙しい中学生の唯一の読書時間。心を落ち着かせ豊かな想像力を育てるためにも、朝読書が不可欠です。是非、全中学校で朝読書を実施してほしい。	朝読書や読書活動の時間の重要性について、各学校と情報共有します。	無	
3-3	P33 P34	事業番号69 事業番号73	(学校図書館司書について) 週2日、1日5時間の勤務では、授業支援・図書館の利用や図書日より発行の時間が取れない。特に、授業支援は、学校図書館司書の勤務日と授業が合わなければ、出来る支援も出来ません。また、学校によって図書館に力を入れている学校と関心のない学校の温度差を感じます。委員会が中心になって、図書館利用を推進して頂きたい。また、近隣の市と比較しても勤務日数、時間が短い。これから益々読書が重要になっていく中で、勤務体系の見直しを早急に進めてほしいと思います。1校に1人の配置を望みます。	2-4に同じ。	無	
4-1	全般		本計画には、流山市の子どもの読書生活を推進させるため、図書館独自の取り組みや学校との連携、図書館の職員の方々の研修など、具体的な取り組みが多数盛り込まれています。これらの取り組みの策定においては、これまでの成果に基づく工夫や改善が反映されていることもよくわかりました。用語説明も付帯されており、市民にとってわかりやすい計画となるように配慮されています。大変良い計画をありがとうございます。	今後も、計画に基づき、子どもの読書活動を推進していきます。	無	
4-2	P7-8	1 ②	学校図書館標準の達成状況について、数値は古い蔵書の廃棄を反映しており、図書資料の刷新に努めていること理解できました。達成状況はあくまでも指標であり、これに拘らず刷新を着実に進めてください。古い蔵書の廃棄に際しては、資料の状態に応じて、希望する生徒や近隣住民への無料配布など、リサイクルの取り組みも行われるとなお良いと思いました。	蔵書に関しては、蔵書の質を高めるために、計画的な購入と本の刷新を図ります。 廃棄図書のリサイクルについて、検討いたします。	無	
4-3	P26 P30	事業番号10 事業番号40	仕掛け、点字、布、外国語絵本など、特色ある資料について、おたかの森こども図書館だけでなく、中央図書館・分館でも閲覧し借りられるよう、おたかの森に行くことができない子ども達への配慮をお願いします。また、電子図書については、おたかの森に限定せず、中央図書館・分館でも同等に進めてください。	特色ある資料について、貸出可能なものは予約して希望する図書館に取り寄せの上、各館窓口で貸出・閲覧が可能です。 電子書籍につきましては、市立図書館で購入を行っており、市内在住で図書館利用カードをお持ちの方であれば、どなたでも利用することが可能です。	無	
4-4	P30 P35 P40	事業番号41 事業番号81 事業番号116	おたかの森こども図書館の学校連携について、併設する学校だけに限らず、他の市内各学校との連携も区別せず、同等に広く進めてください。	市立図書館と市内各学校との連携方法について、検討いたします。	無	
4-5	P31 P36	事業番号53 事業番号92	中央図書館と博物館にある「流山コーナー」は図書館と博物館併設ならではの取り組みであり、博物館の窓口で専門の学芸員の方に教えてもらうことができる配置も大変良いと思います。今後も引き続き当コーナーの充実と中央図書館と博物館の連携が推進されることを期待します。	引き続き流山コーナーを設置し、郷土に関する学習を支援していきます。	無	
4-6	P35	事業番号83	図書館でティーンズコーナーを拝見しており、とても良い取り組みだと思いました。大人にとっても魅力ある本が多く配架されており、職員の方々の工夫が良くわかります。今後も引き続き当コーナー充実への取り組みが進むことを期待します。	今後も、進路に関する資料を拡充するなどして、ティーンズコーナーの充実を図ります。	無	

第2次流山市子どもの読書活動推進計画(素案)に対する意見と市の考え方

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	第2次流山市子どもの読書活動推進計画(素案) 修正案
5-1	P9 P11 P23	④ 2 2) ④	2次の目標として貸出冊数は1次の倍の冊数を目標せると良いと思います。	目標とする指標の達成ができるよう努めます。	無	
5-2	P16	3 1)	中学生に向けて読書への興味をひく取り組みとして、図書委員会の活動が効果的です。図書委員のすすめの本紹介・ブックトーク・読書ビンゴ・スタンプラリー・本のおみくじ・福袋など。中学校に委員会があり活発に活動している学校は貸出数も多いです。	引き続き、図書委員会等、児童生徒の主体的な活動を引き出しながら読書活動を活性化できるよう、よりよい取組について各学校と情報共有します。	無	
5-3	P17	2)	学校図書館司書の勤務時間の改善についても一人一校4日以上勤務を望みます。配置日数・時間の拡大がより質の高い授業支援・読書推進につながります。	2-4に同じ。	無	
5-4	P31 P36	事業番号51 事業番号90	授業に活用する資料は、学校支援図書として教科単元セットを用意し、調べ学習の対応として資料提供できる体制をつくって、資料を流通させて子どもと本をつなげていけるとよいです。 将来的には図書館と市内小・中学校図書館の本を一体として相互貸借し、図書館と学校をつなぐ図書流通システムがあると、もっと団体貸出が活発に行われます。	教科単元セットについては、市立図書館では中央館を含めストックをする場所がなく、現在のところ作成する予定はありませんが、今後も教科や単元に沿った資料収集を行っていきます。 市立図書館の団体貸出は、現在、各学校の希望日時に合わせて随時、各図書館に資料を用意し、学校の職員に受け取りに来ていただいています。ご意見にある図書流通システムについては、今後、他市の取組を研究し、費用対効果を考慮しながら検討いたします。	無	
5-5	P31	事業番号53	郷土資料は小学校中学年で学習します。振り仮名のある易しい資料を充実させてください。	今後も関連資料の充実に努めます。	無	
5-6	P33 P38	事業番号65 事業番号102	学校図書館担当者が教員のことを指すのであれば、配架の仕方など環境より図書委員会の運営など児童生徒に関わる研修を行ってほしいと思います。 司書教諭研修を実施し、学校図書館の運営を図るために学校図書館を活用した授業や読書活動の推進など図書館マネジメントが充実するような内容を希望します。 また、教職員の学校図書館活用の意識向上として、初任者研修時などに図書館活用講座の実施を希望します。	学校図書館司書や司書教諭向けの研修、図書館活用における教職員向けの研修の実施について、検討いたします。	無	
5-7	P33	事業番号67	学校図書館を学習の中に取り入れ、積極的に活用していくためには、教職員一人一人の学校図書館活用の意識向上が必要です。 国語以外の教科でも学校図書館を活用できるよう、学校図書館を活用した授業方法や効果、利点を実感できる研修等を行えるとよいと思います。	5-6に同じ。	無	
5-8	P33 P38	事業番号68 事業番号104	オリエンテーションは小・中学校全校、小学校は全学年の実施を目標に、発達段階に応じた利用指導をすると、学校図書館の利用促進、貸出促進につながります。	発達段階に応じたオリエンテーションの実施について、各学校と情報共有します。	無	
5-9	P33 P38	事業番号70 事業番号106	学校図書館法の一部改正(平成26年6月)によって「学校司書の法制化」が実現しました。学校司書の主な仕事は授業支援です。資質向上を図るため、研修の実施や時間の確保をのぞみます。 「学校図書館法第五条」により、原則として全小・中学校に司書教諭が配置されることを望みます。	学校図書館司書や司書教諭向けの研修、図書館活用における教職員向けの研修の実施について、検討をします。 今後、全校に司書教諭が配置されるよう努めます。	無	

第2次流山市子どもの読書活動推進計画(素案)に対する意見と市の考え方

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	第2次流山市子どもの読書活動推進計画(素案) 修正案
5-10	P33 P38	事業番号71 事業番号107	市立図書館と学校図書館の連携として、市立図書館と小・中学校図書館担当者(司書教諭代表・学校司書代表)の連絡検討会の実施をのぞみます。	市立図書館と小・中学校図書館担当者の連絡検討会実施について、検討いたします。	無	
5-11	その他		教育課程に学校図書館を位置付け、学校図書館の学習情報センターとしての機能を充実させてください。 児童生徒は、学校図書館で課題解決のために欲しい情報を手に入れられることや、図書館の資料を効果的に活用することを学びます。その経験を通して良き図書館の利用者となり、生涯学習へのステップとなります。	学校図書館司書や司書教諭向けの研修、図書館活用における教職員向けの研修の実施について、検討いたします。	無	
6-1	新たな提案		新たな提案として、「電子図書館」「eブック」の導入を提案させていただきます。 既存のサービスでも多くの恩恵に与っているのですが、子どもが小学生のうち、親に時間がなくて子どもを図書館に連れて行ってあげられないと本から遠ざかってしまいます。自宅のタブレット等を介して、eブックを借りられるサービスの導入は時代にも即していますし、eブックの書庫が増えれば増えるほど需要も多くなると考えます。 「電子図書館」等のワードで検索をかけると、既に導入をしている自治体のサイトを見ることができますので是非検討してみてください。	当市では、電子図書館を導入しています。 利用対象は市立図書館の利用登録済みの市内在住者で、1人1点2週間まで貸出可能です。ご自宅のタブレット等でご利用いただけます。 今後も電子書籍の充実を図ります。	無	
7-1	P39	事業番号111	安全・防犯等の観点から、図書室の開放は厳しく、また、職員も足りていないため、開館時間の確保には限りがある。	可能な限りの学校図書館の開館に努めます。	無	
7-2	P39	事業番号112	授業に関わる本が足りず、その場合前もって市の図書館等に借りなければならぬ。すぐに活用できるよう、校内の蔵書も充実させたい。	蔵書に関しては、蔵書の質を高めるために、計画的な購入と本の刷新を図ります。	無	
8-1	P39	事業番号112	国語科の授業で使いたい本があっても、冊数が少ないと感じる時がある。1人1冊行き渡るような整備が必要だと感じる。	7-2に同じ。	無	
8-2	P39	事業番号111	放課後の開放は部活動もあり、厳しいように感じる。	7-1に同じ。	無	
8-3			(学校図書館) 司書の先生の配置を一人一校にしていだけたらと思います。	2-4に同じ。	無	
9-1			学校司書について 6年前に一人配置されてから現在15人へと増加しており、流山市の積極的取り組みは大いに評価できます。ただ、一人が2校担当しており、第一次計画の課題2点目に有る通り、1校あたり週に2日、1日5時間しか勤務できません。これでは授業支援はもちろん、きめ細かな読書指導もままなりません。「1人1校専任、授業が有る日は1時間目から最終下校まで毎日勤務」の実現を、計画に盛り込んでいただけたらと考えます。これにより素案111が実現可能となります。	2-4に同じ。	無	

第2次流山市子どもの読書活動推進計画(素案)に対する意見と市の考え方

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	第2次流山市子どもの読書活動推進計画(素案) 修正案
9-2			学校司書の第一の仕事は「授業支援」であることを、明記していただけないでしょうか。(参考: 柏市第三次計画39~40頁)	「授業支援」は、学校図書館司書の職務の一つですが、読書推進活動や学校図書館の運営・管理も学校図書館司書の職務であるため、「第一の仕事は授業支援である」と明記をする考えはありません。	無	
9-3			少ない時間の中で、団体貸出のデリバリーは主に司書が担っています。柏市のように連絡便があれば、現在ほとんど行われていない学校間貸出も可能になり、図書購入も今以上に計画的に行えるようになります(一人一冊用意したい本がある場合、1校で40冊(生徒数が多いと80冊)購入は予算的に大変難しいのですが、各校で5冊所蔵して融通しあえば用意できます。この物理的な融通が現在困難です)。	学校間貸出については、現在、借用願により実施されています。引き続き、現在の方法で本の運搬を行います。市立図書館の団体貸出は、現在、各学校の希望日時に合わせて随時、各図書館に資料を用意し、学校の職員に受け取りに来ていただいています。ご意見にある図書流通システムについては、今後、他市の取組を研究し、費用対効果を考慮しながら検討いたします。	無	
9-4	P33 P38	事業番号65 事業番号70 事業番号102 事業番号107	学校図書館を担う司書教諭のために、素案65、102の継続、また70、107の実現も強く望みます。中学では部活動で時間を取られ、学校司書との打ち合わせもままなりません。司書教諭の負担感は大きいものが有り、年間計画すら立てられていない学校がほとんどです。	司書教諭が業務に専念できるような校務分掌上の工夫に取り組むよう、各学校と情報共有します。	無	
9-5			学校図書館支援センターの設置も強く望むものです。去年ようやく「学校図書館マニュアル」が完成、各学校に配置された段階です。脆弱である学校図書館のシステムを強力にバックアップする、学校教育に理解の深い組織が必要です。	学校図書館司書や司書教諭向けの研修、図書館活用における教職員向けの研修の実施について、検討をします。学校図書館支援センターを設置する考えはありません。	無	
10-1			流山市内の小中学校の授業で実際に行われた図書を使った取り組みをまとめて、先生方がいつでも見れるような仕組みがあれば、もっと活用されると思います。(指導案等の形式にこだわらず、気軽に報告ができればいいと思います。)	今後も、各校の取組について、共有し活用されるように努めます。	無	
10-2	P39	事業番号111	校長先生をはじめとする管理職の方々の協力が必要不可欠だと思います。部活があったり、休み時間が短い中でどのようにして時間確保をすればいいのか、もし変えていくのであれば、教育課程を変える必要があると思うので、市全体で動いていく必要があると考えます。	各校で積極的に読書活動推進に努められるように努めます。	無	
11-1	P33	事業番号67	国語科において、日常的に読書に親しむ指導をするために研修を行ってほしい。また、学校図書館司書の方との時間確保をするために業務改善を市で決めてほしい。	学校図書館司書や司書教諭向けの研修、図書館活用における教職員向けの研修の実施について、検討をします。また、学校図書館司書と教諭との打ち合わせの時間の確保の重要性を各学校と情報共有します。	無	
11-2		第一次計画における状況について	学校図書館司書の全校配置の達成はとてもよいことです。しかし、1校に常勤でき、勤務の時間も長くなると、もっと学校の中での図書館の役割がよくなると思います。市内1校1人の学校図書館司書を希望します。	2-4に同じ。	無	
12-1			流山小で読み聞かせボランティアを行っています。大型本や大型紙芝居等の所有がなく、柏市の図書館で毎回手配しています。小学生向けの大型本の充実を希望します。	市立図書館では、大型本85点、大型紙芝居9点を所蔵しています。インターネットで予約して市内各館に取り寄せることも可能です。今後も大型本・大型紙芝居の充実に努めます。	無	

第2次流山市子どもの読書活動推進計画(素案)に対する意見と市の考え方

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	第2次流山市子どもの読書活動推進計画(素案) 修正案
12-2			生徒数が多く、図書館利用や管理も厳しいと聞いています。移動図書館が、学校に来てくれたら素敵だと思います。	平成22年に車両老朽化により、移動図書館を廃止しております。現在のところ再開の予定はありません。	無	
13-1			学校の朝読書(又はそれに代わる物)の時間の確保を提案します。自分の読んだ本の感想を書き留めることで、文章を書く力もつくと考えます。	3-2に同じ。	無	
13-2			タブレットを使用した授業の中で、市内図書館の蔵書検索の仕方を教えて頂けると、子供の興味も本へ向くのではないのでしょうか?実際に読みたい本を検索してから、図書館にクラス単位で足を運ぶ等の機会を作るのも読書活動の推進として有効だと思います。	タブレットでの市立図書館の蔵書検索を含め、各校では調べ学習に取り組んでいます。移動時間の観点から市立図書館への移動が難しいのが現状です。市立図書館からの団体貸出や既存の学校図書館の活用がさらに進むよう、蔵書の刷新や環境整備を図ります。	無	
14-1			日頃より、子供達の為に活動計画して下さりありがとうございます。4年生の娘と2年生の息子がおります。娘が1年生の頃、木の図書館に通い、本が好きになりました。今は、習い事や部活があり、子供だけで通うには少し遠く利用が少なくなりました。長期休みに通える距離に図書館ができれば、子供達が本を読む機会が増えるのかと思います。	現在のところ、該当地域に新しく図書館を作る計画はありませんが、子どもたちが読書に親しむ機会が増えるよう、資料の充実やイベントの実施などを行っていきます。また学校図書館も子どもたちにとって身近な図書館であり、読書に親しむ場所のひとつであると考えます。	無	
15-1	P32	事業番号62	日頃より学校において様々な本に接する機会を与えて下さり感謝しております。向小金小は少し離れた隣接する東小学校学区内に図書館があり、気軽に行ける距離としては少し離れています。そのため、図書館へ行くために低学年においては保護者が付き添う必要があり、利用回数があまり伸びません。夏期休暇、冬期休暇等のまとまった休みにこそ、本をたくさん読んでほしいと思います。図書館を気軽に利用出来ない場合、学校の図書室を期間を限定して開放いただけないのでしょうか。普段の生活では授業や部活で落ち着いて本を読む、選ぶことが難しいかもしれません。長期休暇等に図書室を利用出来れば、少しは本に触れる機会も増すのではないのでしょうか。	長期休業における学校図書館の活用について、検討していきます。	無	
16-1	P33 P34	事業番号68 事業番号70 事業番号72 事業番号73 事業番号74	学校図書館司書の配置により、図書主任と連携しながら読書への興味が高まった。 ・おすすめ本の紹介(授業での取り組みや、図書委員、職員のおすすめ本を学校図書館で紹介)→今まで手に取ることのなかった本を手にする機会となった。 ・学校図書館司書のおすすめ本は、学校図書館カレンダーに毎月のせるとともに学校HPでも紹介した。学校図書館に関連した本のコーナーも作られ、読書活動の推進につながった。 ・ポップづくり(R1グランプリ)に積極的に取り組み、楽しみながら本にふれる機会となった。 引き続き、学校図書館司書の配置を継続し、さらに読書活動の推進につなげたい。	2-4に同じ。	無	
16-2	P29	事業番号32	市の図書館の団体貸出は大変ありがたい。	今後も団体貸出を通じて学校を支援していきます。	無	
17-1			授業等で(学校図書館)司書の先生のお力をお借りすることが多く、より多くの勤務時間を確保いただけると助かります。	2-4に同じ。	無	

第2次流山市子どもの読書活動推進計画(素案)に対する意見と市の考え方

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	第2次流山市子どもの読書活動推進計画(素案) 修正案
18-1			子供を見ていると、幼児の頃に比べて読書をすることに消極的になっていると感じています。幼児期でのお話し会等、子供が読書に興味を持てるような場(イベント等)を、より充実させていただく事により、読書の楽しみ方を覚え読書も続けていけるのではないかと思います。小・中・高と成長していても成長過程をふまえた、読書の機会の提供、学校への本の充実をお願いしたいです。	新型コロナウイルスの影響で一部中止しているものの、市立図書館では乳幼児向けのおはなし会を定期開催しております。引き続き、乳幼児期の子どもの読書体験の機会を作っていきます。また、団体貸出等を通じ、学校への本の充実を今後も行っていきます。	無	
19-1			YOUTUBEやゲーム、マンガといった娯楽の方が子供たちの生活になじんでいる毎日だと思います。家庭で読書をする機会が正直厳しい状況なので、できたら学校で週一回でもいいので、「図書室に行って好きな本を選んで読む時間」を作っていただければと思います。	3-2に同じ。	無	
20-1			本を読みたくても読む時間がなかなかありません。本が嫌いだという事ではないようです。学校の朝学習の数分でも本を読む時間を取ってもらえると、関わりを持てるのかと思います。	3-2に同じ。	無	
20-2			図書館でのイベントも、学校でも知れると行ってみたい気持ちになるのかとも。機会がある事で、1冊でも気持ちが動くような本に出会えると次に進むと思います。	市立図書館のイベントを学校にも周知することを検討します。市立図書館では年齢別おすすめの本のリストを配布・公開しています。本との出会いのきっかけにご利用ください。	無	
21-1			学校そして子どもたちの発達がすすむにつれて、読書離れの傾向がありますので、それに対して、新しい本をどんどん入れていただくことは大変ありがたいです。	今後も、発達段階に応じた蔵書の整備に努めます。	無	
21-2			幼児対象におはなし会を実施していることも大変すばらしいのですが、保健課etcとタイアップして、検診の場でも本の紹介(新しいもの)をして頂いてもよいのではないのでしょうか。	ブックスタート関連事業「おはなし しゅっぱつしんこう!」として、保健センターに図書館司書おすすめの本のセットを設置し、本の紹介を行っています。その他、関連部署との連携に努めていきます。	無	
22-1			高学年になると自分から進んで読書をする児童が少なくなってくるので、読み聞かせの機会を増やしていただくと、もう少し本に興味を持ってもらえるのかな、と思います。	小学生以上を対象にしたおはなし会の開催を検討します。	無	
22-2			(学校図書館)司書さんが学校にいる時間がもっと増えると、本を読めない子に対して、その子に合った本を紹介してもらえたり、国語の授業でお力をお借りしたりすることがもっとできるかな、と思います。よろしく願いいたします。	2-4に同じ。	無	
23-1			学校図書館司書の方がいてくれると、子どもたちへの本の紹介を行ってくれたり、貸し出しがスムーズに行えたりする。ぜひ、司書の方の勤務時間を十分に確保してほしい。	2-4に同じ。	無	
24-1	P33	事業番号67	学校図書館の一人一校体制を希望します。一校当たりの勤務時間の短さにより、効果的な学校図書館使用が難しい面があります。67の項目以外も学校図書館司書の勤務体制次第で充実がはかれる項目があると思うので、是非お願いしたいです。	2-4に同じ。	無	

第2次流山市子どもの読書活動推進計画(素案)に対する意見と市の考え方

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	第2次流山市子どもの読書活動推進計画(素案) 修正案
24-2			各校学校図書館司書に団体貸出カードの配布を希望します。4月に各校各学年に配られるもの以外に、特別支援クラス、学校全体での活用・司書の学び用(個人カードでは期間冊数不足)として年度始めに配られることで、司書による取り組みの向上が期待できます。	学校図書館司書一人につき一枚、団体貸出カードを発行しています。最寄りの図書館で手続きが可能です。	無	
24-3	P34		中学生の図書館利用を増やす為に一定の条件の下で、下校時学区内の市立図書館の利用をOKするのはどうでしょうか。例えば「市立図書館と中学校で決めた曜日のみ」「完全下校から〇分以内には図書館を出る」「登校時の返却BOX利用」(これは今もOKか?)「保護者のOKをもらう」等のルール作りをしていけば、利用したい生徒は一定数いると考えられます。手始めに明るい時間に登下校することが考えられる休日や長期休暇中の部活の日に始めると安全面での心配が少なくなると思います。	学区内の市立図書館利用について、検討していきます。	無	
25-1	P36	事業番号90	学校が市立図書館の本を借りる場合、その運搬は、学校側が行っている。学校司書の保険未加入や勤務時間を考慮して、現在は使用する教諭、または教頭に相談、用務員に依頼するなどだが、それらいずれにしても、本来の仕事にさらに増えるので、はっきり言ってひじょうに頼みにくい現状がある。司書が、「団体で借りますよ」と言いながら「先生行ってください」とはなかなか言えずにいる。そこで市立図書館と学校が本の運搬をも含めた連携が取れると大変ありがたい。市に運搬をしてもらうと、団体利用の件数・冊数は大幅な増加が見込めると考える。市立図書館が様々な場面を想定して収集した本を、有意義に活用するためにも、また学校図書館司書としても、ぜひとも実現して欲しい。	市立図書館の団体貸出は、現在、各学校の希望日時に合わせて随時、各図書館に資料を用意し、学校の職員に受け取りに来ていただいています。ご意見にある図書流通システムについては、今後、他市の取組を研究し、費用対効果を考慮しながら検討いたします。	無	
25-2	P38	事業番号106	司書教諭・図書主任と学校司書が話し合う、相談するという時間が、非常に取りづらい。休み時間や昼休みのわずかな時間では、どうしても中途半端で仕事が進まず困ることがしばしば。この一項を設けているなら、ぜひ具体的な方策をお願いしたい。	学校図書館司書と教諭との打ち合わせの時間の確保の重要性を情報共有します。	無	
25-3	P37	事業番号100	児童がタブレット端末から自分の学校図書館の蔵書を調べられたらどんなに良いかと思うが、まず、その前の段階がいろいろとあり、先が長そう。市内の学校図書館がつながり、蔵書を検索し合えるようになると大変便利。その上で貸し借りが出来るようになれば、購入する本の重複が避けられるので、予算の有効活用につながる。貸し借りが、上記25-1の図書の運搬便に乗せることが出来たら、素晴らしい仕組みになりそうでわくわくする。	学校間の蔵書検索については、現在のところ導入の予定はありません。学校間の貸し借りについては、借用願によって実施されています。また、市立図書館の団体貸出は、現在、各学校の希望日時に合わせて随時、各図書館に資料を用意し、学校の職員に受け取りに来ていただいています。ご意見にある図書流通システムについては、今後、他市の取組を研究し、費用対効果を考慮しながら検討いたします。	無	
25-4			現在、流山市の学校図書館司書は、一人が二校を兼務している。これを、一人一校専任にすることを、強く希望したい。 ・二校勤務のため、図書委員会の日が重なるので二か月に一度しか参加できず、継続した支援ができない。 ・二校分それぞれの蔵書の把握に時間がかかる。もしくは把握しきれない。 ・さまざまな物事を二校分理解しなければならず、なおかつ学校により、取り決めや、手続き等に違いがあるので、かなりの負担に思える。	2-4に同じ。	無	

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	第2次流山市子どもの読書活動推進計画(素案) 修正案
25-5			小中学校の蔵書にバーコードが付与されたのが、2012年ごろではないかと思う。その時に、漏れがあった、または何らかの事情からか、パソコン上の数字と申し送りされている数字に結構な差が見られる。これを、きちんと精査して、蔵書数が減ることを恐れずに申告し、誰がどこからアクセスしても、その図書館の正しい蔵書が検索できるようにすることが望ましい。現在は、図書標準数をクリアーすることを目指しているため、申し送りされた蔵書数を基本にして申告しており、パソコン登録されている数字よりかなり多くなっている。	読書や学習の質を高める図書資料の充実につなげるためにも、読書の楽しさを味わえるような図書や学習指導要領に対応した図書を購入し、蔵書の見直しや蔵書点検を行い、活用される学校図書館の整備と更新に努めます。	無	
26-1			・学校の取り組みについて 教員自身が図書室にどのような本があるか把握していない。中には図書室に来たことのない教員もいる。そのため、授業で利用することもなく、本購入の際に意見もない。教員にも図書室を利用するよう促すべきだと思います。	学校図書館司書や司書教諭向けの研修、図書館活用における教職員向けの研修の実施について、検討いたします。	無	
26-2			小学生までは図書室をたくさん利用していた児童も、中学生になると利用しなくなる。卒業するまで図書室に来ない生徒もいる。司書がいない時間帯は図書室が閉まっており、利用は図書委員のいる昼休みだけとなっていることで、利用する生徒は減っている。これらを改善するために、流山市はもっと図書ボランティアに協力してもらいたいと思います。近隣の野田市は昼休みから放課後まで、地域の図書ボランティアが入り、司書がいない時間帯でも図書室を利用することが可能になっています。その流れで、英検や漢検などの資格勉強もボランティアが協力し、教員の負担も減っています。	流山市では、今後、地域学校協働本部との連携を図りながら、また可能な限りの開館時間の確保に努めるよう学校に働きかけながら、読書推進を進めます。	無	
26-3			・家庭や地域での取り組みについて ボランティアなどのおはなし会はどうしても小さい世代にスポットがあたり、中高生はどんどん本から離れていっていると思う。改善点としては、中高生以上も楽しめる、ビブリオバトルを行ったり、保護者や地域の方向けのワークショップでしおりづくりや、ブックカバーづくりなどを行うなどし、地域で読書推進を行うとよいと思います。 私は、昨年から北部地域でこども食堂と共にリサイクルブック活動をしています。こちらは中高生が訪れています。さまざまな読書の取り組みをしている団体と、市がつながり、地域で図書普及に努めるとよいと思います。	中高生に向けてティーンズコーナーの充実を引き続き図っていきます。また、計画に基づき、地域と連携して読書活動を推進していきます。	無	
27-1			色々な子供達がいいます。運動が得意な子、絵を描くのが好きな子、いつもみんなと仲良くワイワイしている子もいれば、1人静かに過ごしている子もいます。そんな子も、図書室で、司書の先生と楽しそうに本について話しているのを見かけると、こどもの居場所は沢山あるべきだと思います。その為にも、司書の先生の勤務時間の延長をお願いしたいと思います。	2-4に同じ。	無	

第2次流山市子どもの読書活動推進計画(素案)に対する意見と市の考え方

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	第2次流山市子どもの読書活動推進計画(素案) 修正案
28-1			児童発達支援、放課後等デイサービスなど福祉施設は対象に入っていないため園・学校等と同じように入れてほしい。園に通わず児童発達支援だけ通う障がいのあるお子さんも増加しているため必要だと思います。読書のインクルーシブ推進のためにも。 ※インクルーシブとは…あらゆる人が社会の一員となり支え合う	視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律の施行に伴い、本計画では、第3章内に「配慮を必要とする子どもへの取組」(事業番号113~121)を設けています。 例えば、「117ブックスタート関連事業『おはなし しゅっぱつしんこう!』障害児通所支援事業所へ乳幼児向けブックセットを設置する」などがあります。 今後も、より配慮が必要である子どもたち一人一人に寄り添い、豊かな読書活動が行われるよう、読書環境を整備し、関連機関と連携して支援していきます。	無	
29-1	P31 P36	事業番号51 事業番号90	授業に関する団体貸出、選書、図書費について 図書館本館にスペースを設け、学年別教科別、単元別の関連本を、まずは国語(の図書を利用した授業ができそうな単元)からストックしておく(とりあえず1セットそろえる)。	教科単元セットについては、市立図書館では中央館を含めストックをする場所がなく、現在のところ作成する予定はありませんが、今後も教科や単元に沿った資料収集を行っていきます。	無	
29-2	P32	事業番号61	図書館本館では過去の団体貸出の教科・単元・テーマのリストをファイルくださっているの、それもストックしておく。依頼があれば、すぐに配送便に載せる(または司書教諭が受け取りに来る)。 次の依頼で本が重なったら他館から集める。 各学校の授業時期が重なることについては、年間図書館活用計画を各学校が指導課に提出し調整、1校2週間ずつ回す。	毎年、団体貸出の利用一覧は作成しており、関係者に公表しております。また、求めに応じてすぐに市内各館から資料を集め提供しています。	無	
29-3	P33	事業番号71	29-2により、調べ学習の選書で、すべての小学校が同じ図書をそろえることなく、ほかの図書費に使うことができる。図書費は(新設校は除き)学級数に応じて各学校に割り振られると思うが、学級数が7クラスでも、45クラスでも、やる勉強は同じで、必要な図書も同じなので、小規模校は、図書費を児童向けの読み物などに回すことができる。以前行われていたトーハンによる展示会、又はトーハン本社の展示会(年2回)に学校図書館司書が参加(有給)する。セット本の中身、字の大きさ、充実した資料か、などがわかり、無駄な購入が避けられる。	図書展示会への参加に関しては、今後検討していきます。 学校図書館の効果的な活用がされるよう、蔵書を常に見直し、図書資料の充実が図れるよう努めます。	無	
29-4	P33	事業番号67 事業番号69	国語は、学年別単元別の一覧を職員に回覧し、どれで、いつ、図書を使った授業を行えるか(行ってみたいか)印をつけてもらえば、司書教諭と学校図書館司書、学年主任が連携し、図書資料をそろえ、授業支援の準備ができる。これが年間図書館活用計画につながる。	各学校において、読書推進が活性化するよう、よりよい取り組みについて情報共有します。	無	
29-5	P33	事業番号70	学校図書館の館長は学校長が担う。(文部科学省「学校図書館」別添1「学校図書館ガイドライン」(2)学校図書館の運営より https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/dokusho/link/1380599.htm)	引き続き、学校図書館ガイドラインの周知に努めます。	無	
29-6	P33	事業番号70	1年生の担任は司書教諭は除く。貸出のある昼休みは給食の後片付けで兼務は難しい。	各校の分掌配置については、諸々の実態を考慮し、学校長が決定します。	無	
29-7	P33	事業番号68	学校図書館オリエンテーションは小学校、中学校とも、全クラス、年1回は行う。司書教諭が学校や先生方と日程を調整してスケジュールを組み、学校図書館司書の支援のもと、小学校は担任が、中学校は国語科教諭が実施する。本の紹介では校長先生や教諭がおすすめの本を紹介する。	発達段階に応じたオリエンテーションの実施について、各学校と情報共有します。	無	

第2次流山市子どもの読書活動推進計画(素案)に対する意見と市の考え方

No.	該当ページ	当該箇所	ご意見等	市の考え方	修正の有無	第2次流山市子どもの読書活動推進計画(素案) 修正案
29-8	P34	事業番号72	(学校図書館)蔵書点検を、できれば年1回か隔年に実施し、蔵書管理をする。不明本は検索(特に新着図書)、どうしても紛失した本、破損した本は除籍処理、廃棄申請をする。その際、ボランティアに本のデータ読み取りをお願いする。または、教職員にシフトを組んで少しずつ参加してもらおうとその後、本の利活用が進む。	読書や学習の質を高める図書資料の充実につなげるためにも、読書の楽しさを味わえるような図書や学習指導要領に対応した図書を購入し、蔵書の見直しや蔵書点検を行い、活用される学校図書館の整備と更新に努めます。	無	
29-9	P33	事業番号66	読み聞かせや朝読書について: 読み聞かせはボランティアもよいが、担任の先生が愛情を持って、長編の物語を毎日5~10分ずつ読んであげる方が、児童生徒との信頼関係が築かれるし、子どもたちは物語の主人公と一緒に成長するそうです。 子どもたちの興味のわかる担任が読み聞かせるのが適任。 全員が同じ本を読んで感想を言い合う読書会(必ず一人一回は発言する、他の人の批判はしない、授業のような答えはない)もおすすめ。(参考:朝日新聞「どくしょ甲子園」)	朝読書や読書活動の時間の重要性について、各学校と情報共有します。 読み聞かせについては、地域ボランティアの活用を継続するとともに、よりよい事例について伝えていきます。	無	
29-10			クラスで授業を受けるのが難しい生徒について 担任の許可のもと、学校図書館で自習(テーマは担任が出し、それに沿った本を読む・調べる・「やったこと・わかったこと」に書く) ブックカバーかけ、本の修理などの仕事を手伝ってもらう。	学校図書館の幅広い活用について、検討していきます。	無	
30-1			(学校)図書館司書の配置がありがたいです。今後も継続をお願いします。	2-4に同じ。	無	
31-1			読書が苦手・嫌いな児童に対してどのように読書活動を進めていけばよいのかわかりません。	読み物に限らず、児童の興味ある分野から資料をすすめることで、本に親しむきっかけとなる場合があります。市立図書館では読書関連のイベントの開催や、年齢別のおすすめ本のリストも配布・公開しておりますので、ご利用ください。	無	
31-2			ICTを使った読書活動を児童はやりたがりますが、紙の本でなければならぬ理由はあるのでしょうか。	紙の本以外にも、市立図書館では電子書籍を導入しており、適宜ご利用いただけます。	無	
32-1			図書館に行ってみたいと思うようなイベントをもっと魅力的なものにしていくとよいと思います。	今後も図書館で企画したイベントを行っていきます。	無	
33-1			学校図書館司書の配置はとてもありがたいです。	2-4に同じ。	無	
33-2			年齢別「おすすめの本リスト」は、子どもが興味を持って見えています。	今後も継続的に年齢別のおすすめの本のリストを公開・配布していきます。	無	